

体育科学習指導案

第4学年

【単元】 セストボール (E ゲーム)

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> セストボールの行い方についての知識や、ボールを保持したり、パスやシュートをしたりする基本的なボール操作、ボールを持たないときの動きの技能 	<ul style="list-style-type: none"> セストボールにおける運動の課題の解決策を見付ける力、簡単な作戦を選ぶ力、規則を工夫する力、自分の考えを仲間に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> セストボールに進んで取り組むとともに、規則を守り誰とでも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えを認めたりする態度
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> 3年センタリングサッカーにおいて、ノーマークの仲間にパスをしたり、守りのいない場所に動いてパスを受けてシュートしたりするゲームの行い方を知っている。 シュートすることに向けて、ボール保持者と自分との間に守りがいない場所に素早く移動できない子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 守りのいない場所に素早く移動してパスをするやシュートの打てる場所に素早く移動してパスを受けるなどの簡単な作戦を選ぶことができる。 ボールゲームにおける動きのポイントを見付けることができるが、自分が考えた仲間やチームの課題の解決策を伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> セストボールの規則を守り、仲間と励まし合って、セストボールに進んで取り組める。 仲間のよい動きを認めたり、勝敗を受け入れたりすることが、難しい子どもがいる。
価値	<ul style="list-style-type: none"> セストボールは、ボールを保持することやパス、シュートなどの基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって攻防を組み立て、攻守のかけひきを楽しむことができる。また、攻守が入り混じった中で、パスを回してボールを運び、シュートを打ち、得点することに楽しさや喜びがある。パスだけでボールを運び、360°どこからでもシュートが打てる。そのため、守りのいない場所を見付けやすくなり、ノーマークでシュートすることが容易になる。本単元では、3対2のアウトナンバーゲームで攻守を交代して行う。守りの一人が遅れてコートに入る。そのため、仲間と守りの位置に着目して、守りのいない場所を見付けて素早く移動したり、ボール保持者と自分との間に守りを入れないようにしたりする動きを身に付けやすくなる。また、チームで簡単な作戦を工夫するようになり、チームで話し合いながら、セストボールの楽しさや喜びを味わうことができる。 単元を通して、パスやシュートの基本的なボール操作を練習する時間を設定することにより、パスやシュートの基本的なボール操作を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察者に取り組んだ動きと目標とする動きを評価・判断する視点を提示することにより、技能差に関わらず目標とする動きと取り組んだ動きとを照らして評価・判断し、見つけた解決策を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> クライマックスイベントとして、セストボール大会を行うことで、互いの動きを高め合おうと、仲間の考えを認め、勝敗を受け入れることの大切さに触れられ、誰とでも仲よく学習できる。
見方・考え方	セストボールにおけるボールを保持する動きやパスを回してボールを運びシュートをする動き、守りのいない場所に素早く移動する動きに着目し、自分でプレーしたり、仲間のプレーを見て考えを伝えたり、目標とする動きから動きのポイントを見だしたりする。		
今後の学習	5年「ハーフコートバスケットボール」で、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームへと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	チームで協力し、作戦を選んだり、教え合ったりしながら、パスやシュートをしたり、サポートの動きをしたりして、セストボールができる。		
評価 規準	(①技・知) ねらった方向へパスやシュートをしたり、守りのいない場所へ移動したりする行い方を理解し、セストボールができる。 (②思・判・表) セストボールにおけるパスやシュート、サポートの動きのポイントを見付けたり、簡単な作戦を選んだり、チームの課題の解決のために考えたことを友達に伝えたりしている。 (③主体的態度) 規則を守り、互いに協力したり、勝敗を受け入れたりして公正にセストボールをしようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○試しのゲームを行い、共通のめあてや自分のめあてを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 共通のめあて セストボール大会に向けて、パスやシュート、サポートの動きのポイントを見付け、友達と協力しながら練習しよう </div>	○セストボールの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるように、「できるようになりたい動き」「学び方」「楽しく安全に運動するためにできること」の視点を提示する。 ◇シュートを入れられるようになる、チームで作戦を立ててノーマークでシュートを打てるようになるなど、具体的なめあてを記述している。 <学習プリント③>
追究する	1	○シュートのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。	○シュートの動きのポイントに気付けるように、「目線」「膝」「ボールの軌道」の視点を提示する。 ◇ボールを持ったらゴールを見る、膝をばねのように使う、ゴールにボールを山なりに打つなどの動きのポイントを記述している。 <学習プリント②>
	1	○パスのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。	○パスの動きのポイントに気付けるように、「パスの出し方」「守りの位置」の視点を提示する。 ◇守りの位置に合うパスの動きのポイントを記述している。 <学習プリント②>
	1	○サポートの動きのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。(本時)	○サポートの動きのポイントに気付けるように、味方と守りの位置」「味方の距離」の視点を提示する。 ◇守りのいない場所や3人の距離が近くない位置に移動している。 <行動①>
	2	○チームで作戦を選び、試行し、ゲームをする。	○チームの動きの達成度合を自覚できるように、作戦ボードでチームの動きを確認する時間を確保する。 ◇簡単な作戦を選び、繰り返し試している。 <行動①> ◇選んだ作戦で、パスやシュートを打つことができる。 <行動①>
まとめる	1	○セストボール大会を行い、互いの頑張りを認め合い、学習のまとめをする。	○学習の成果を実感できるように、「できるようになった動き」「仲間との関わり」という振り返りの視点を提示する。 ◇セストボールにおける自分や友達の頑張りが仲間とのよさについて記述している。 <学習プリント③>

本時の学習（4／7時間目）

ねらい ボール保持者と自分との間に守りを入れない位置に移動することについて考えた解決策を基に、3対2のゲームを行うことを通して、守りがいないシュートが打てる位置に移動することができる。

評価項目 守りのいない場所や3人の距離が近くならない位置に移動している。

<行動①>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・味方がパスをしてくれたけど、間にいる守りに捕られてしまったな。どのように動いたら、守りに捕られないでシュートまでいけるだろう。 (課題意識)</p> <p>めあて：ボールを持っていないときの動きのポイントを見付けて、ゲームに生かそう</p>	<p>○前時の課題となっていた姿から本時の課題を見いだせるように、前時に撮影したボール保持者と非保持者の間に守りがいて、パスがもらえない様子の動画を提示する。</p> <p>○守りのいない場所に移動する動きについて考え、課題を解決するという見通しがもてるように、本時できるようになりたいことを問いかける。</p>
<p>2 守りのいない場所でパスを受ける動きのポイントを見付ける。</p> <p>・「味方と守りの位置」「味方の距離」に注目して動画を観たら、3人が三角形の形になっているな。ボールを持っていない味方が横にずれてボールをもらっていたな。3人が広がって守りの位置より横にずれるとノーマークができそうだな。</p> <p>3 見付けた動きのポイントを基に、チーム内で3対1のゲームを行う。</p> <p>・守りのいない場所に移動したけど、守りにボールを捕られてしまったな。動画を観たら、ボールを受ける2人の味方が近くなっていたな。</p> <p>・「味方が大きな三角形の形のように離れると、味方が重ならないと思うよ」と友達がアドバイスしてくれたよ。</p> <p>4 3対2のメインゲームを行う。</p> <p>・味方の3人が大きな三角形の形になって、守りのいない場所に移動することが大切だな。これを生かしてゲームをしたら、守りのいないシュートできる位置に移動できたよ。 (課題を解決した意識)</p> <p>5 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>・友達に「守りの横にずれる」とアドバイスをしたら、友達が守りより横にずれたからパスができたよ。</p>	<p>○守りのいない場所に移動する動きのポイントに気付けるように、目標とする動きの動画を視聴する際に「味方と守りの位置」「味方の距離」の視点を提示して、ボール保持者と非保持者を直線で結び、守りの位置について問いかける。</p> <p>○取り組んだ動きから、守りのいない場所に移動する動きの解決策を見いだせるように、撮影した動画を用いて、取り組んだ動きを見付けたポイントに照らして評価するよう促す。</p> <p>○3人が広がって、守りのいない場所に移動する動きについての解決策を得られるように、観察して気付いたことを伝え合うよう促す。</p> <p>○目標とする動きへと近付けたことを自覚できるように、守りのいない場所に移動している動画を視聴し、「味方と守りの位置」「味方の距離」について問いかける。</p> <p>○3人が広がって守りのいない場所に移動する動きに自信がもてるように、守りのいないシュートできる場所に移動している子どもを称賛する。</p> <p>○仲間と共に、守りのいない位置に移動する動きの高まりを自覚できるように、自分と仲間ができるようになった動きとその理由という振り返りの視点を提示して、記述するよう促す。</p>